

debianにMATEをインストールする手順

- ②① 「新しいパーティションの作成」を選択し、「続ける」をクリックします

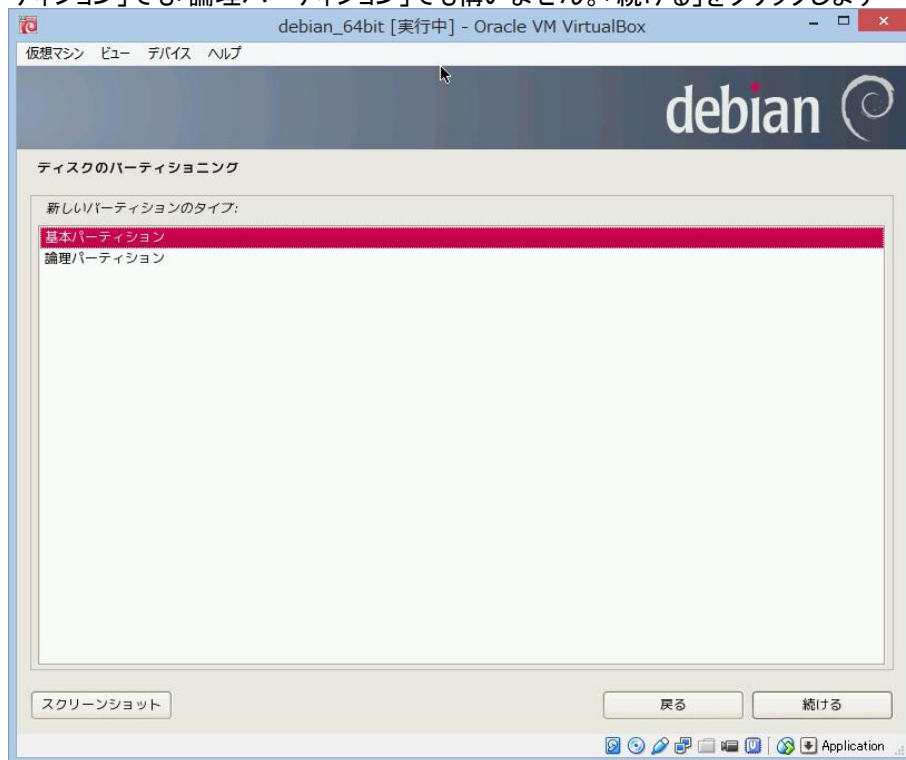


- ②② 残り全てのスペースをlvmで設定する為、表示された値をそのままにして、「続ける」をクリックします
lvmは、パーティションの形式で、拡張のし易さから、最近はこの形式が使われる



debianにMATEをインストールする手順

- ②③ まず、lvmの物理ボリュームを設定します。
「基本パーティション」でも「論理パーティション」でも構いません。「続ける」をクリックします

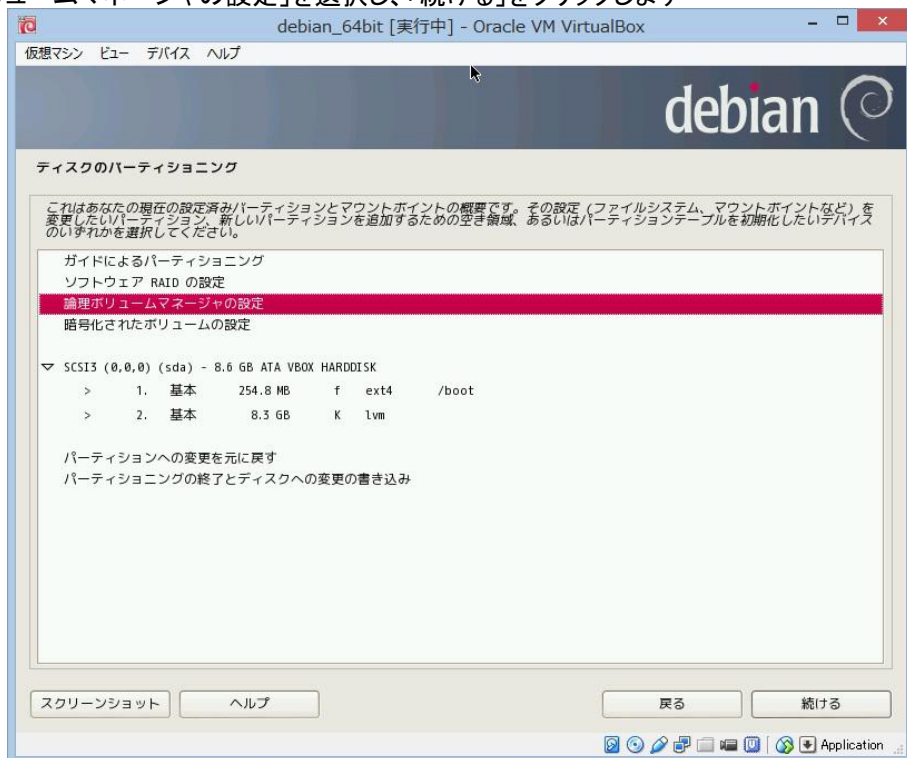


- ②④ 「利用方法」に「lvmの物理ボリューム」を選択し、「パーティションのセットアップを終了」を選択し、「続ける」をクリックします

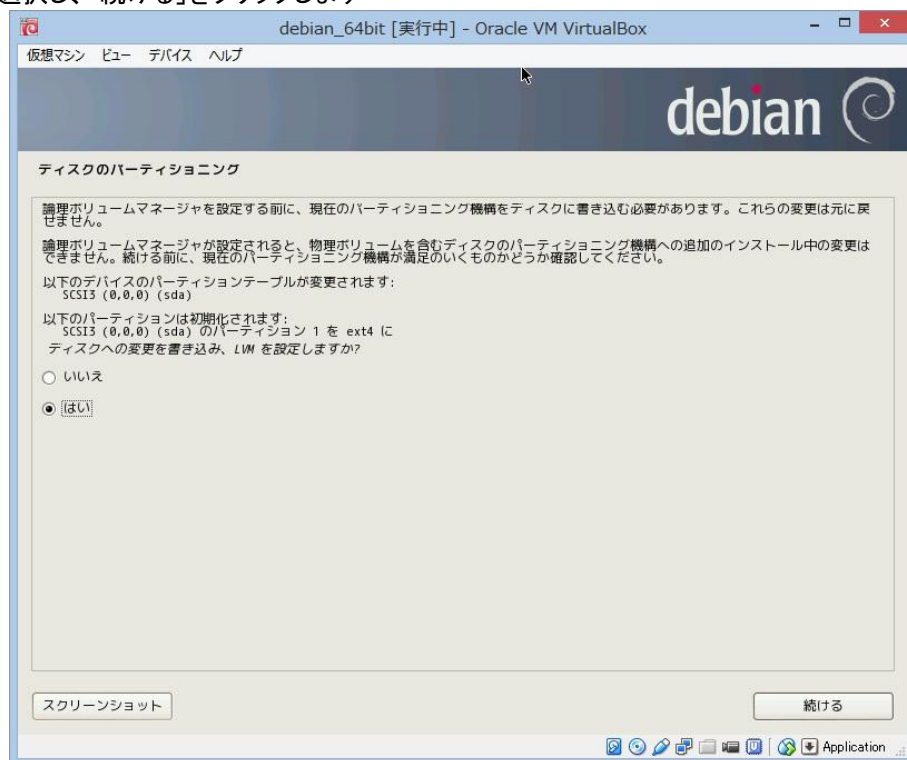


debianにMATEをインストールする手順

- ②⑤ 「論理ボリュームマネージャの設定」を選択し、「続ける」をクリックします



- ②⑥ 「はい」を選択し、「続ける」をクリックします

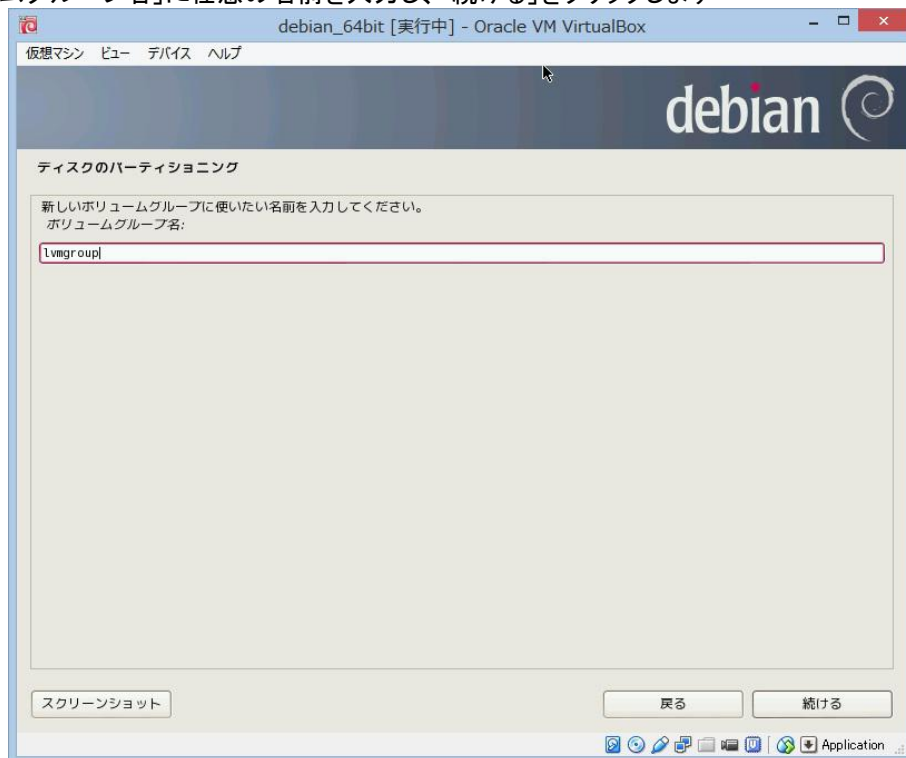


debianにMATEをインストールする手順

- ②⑦ 「ボリュームグループの作成」を選択し、「続ける」をクリックします

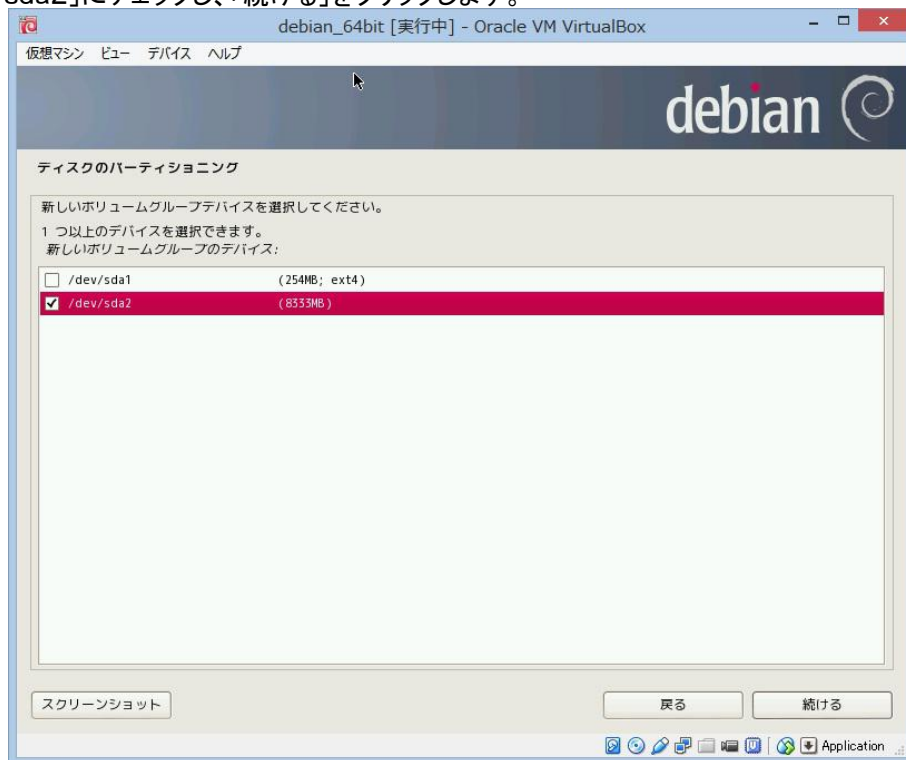


- ②⑧ 「ボリュームグループ名」に任意の名前を入力し、「続ける」をクリックします

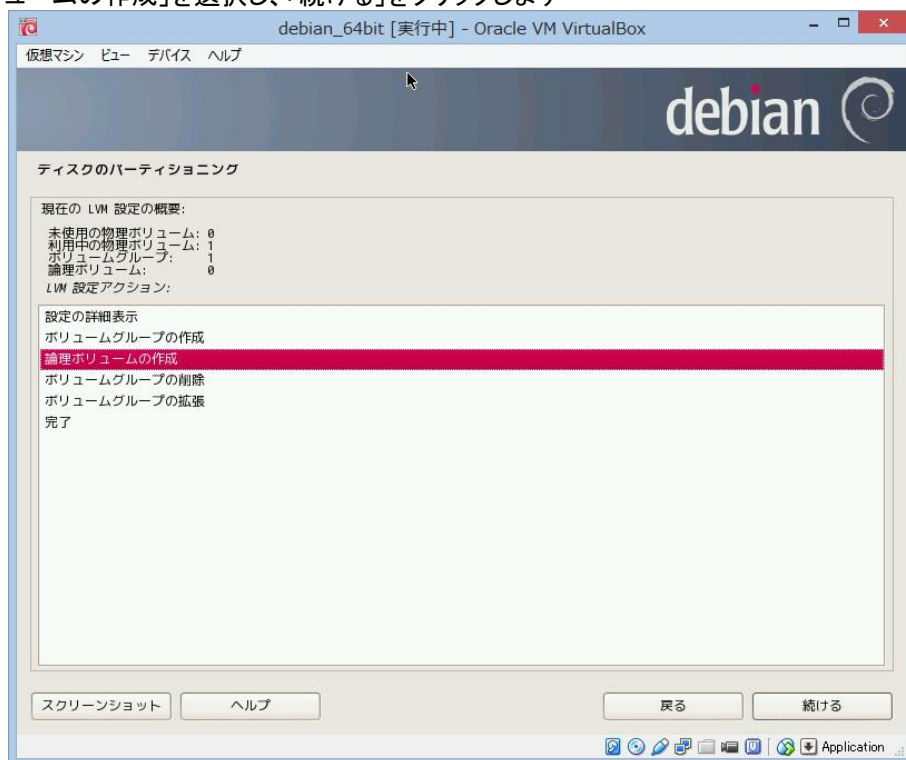


debianにMATEをインストールする手順

②⑨ 「/dev/sda2」にチェックし、「続ける」をクリックします。



③⑩ 「論理ボリュームの作成」を選択し、「続ける」をクリックします

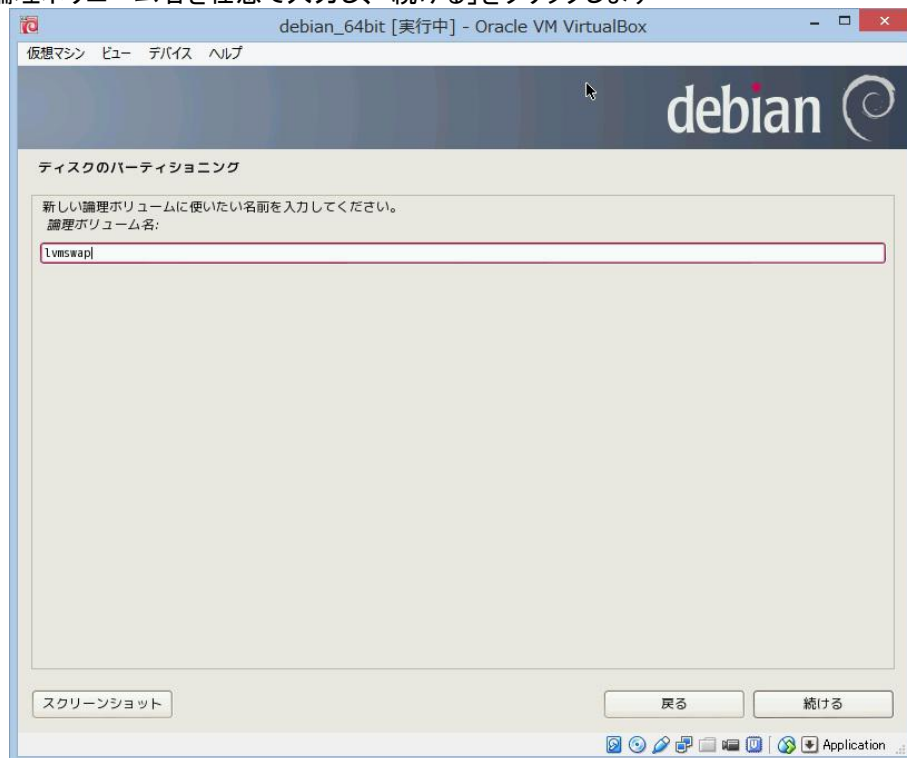


debianにMATEをインストールする手順

- ③① 入力したlvm論理ボリュームを選択し、「続ける」をクリックします

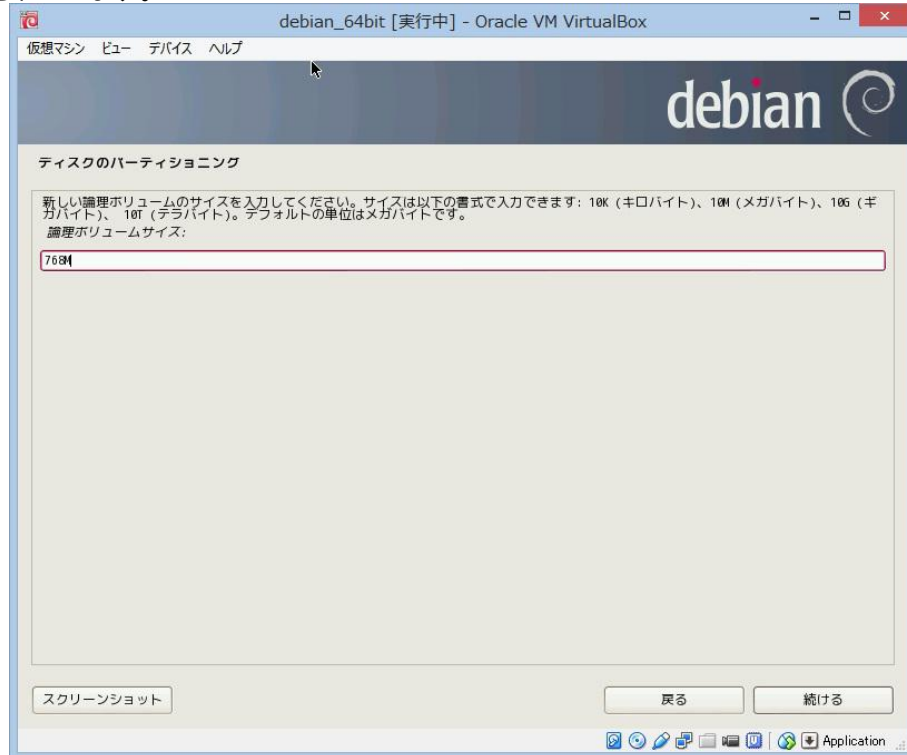


- ③② swapの論理ボリューム名を任意で入力し、「続ける」をクリックします

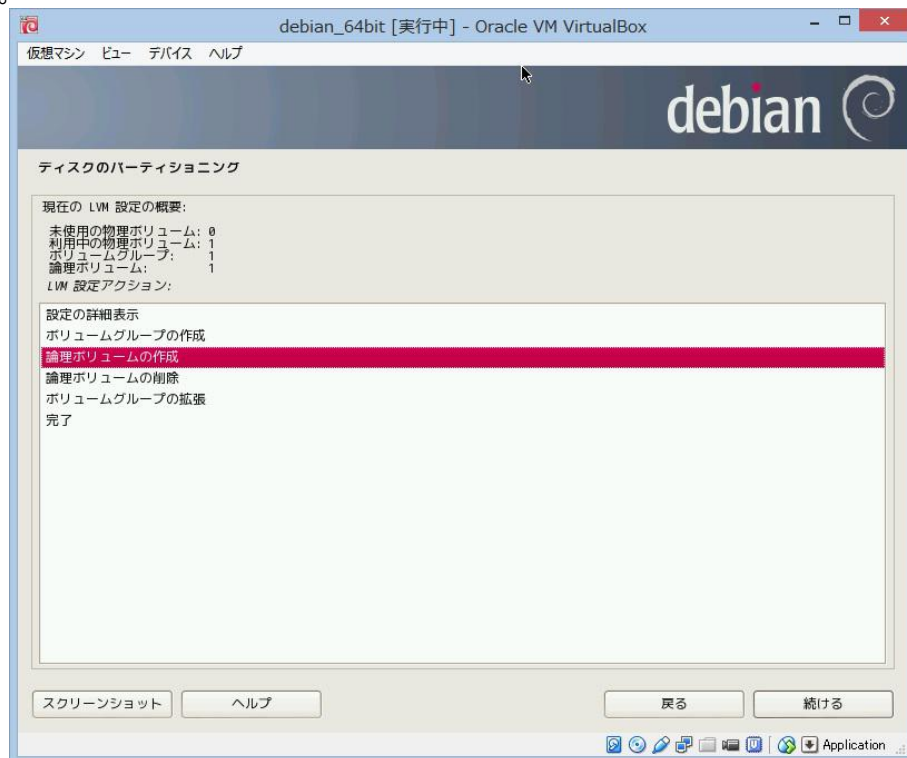


debianにMATEをインストールする手順

- ③③ swapの大きさは、いろいろな説がありますが、よくわかりません。centosの最低実メモリは、768Mないとグラフィカルインストールができない為、768Mが実メモリの最低値だと思います。実メモリと同じサイズを指定しました。自動割り付けを見ると、redhat系は、実メモリと同サイズ、debian系は、実メモリの半分くらい割り付けられています。



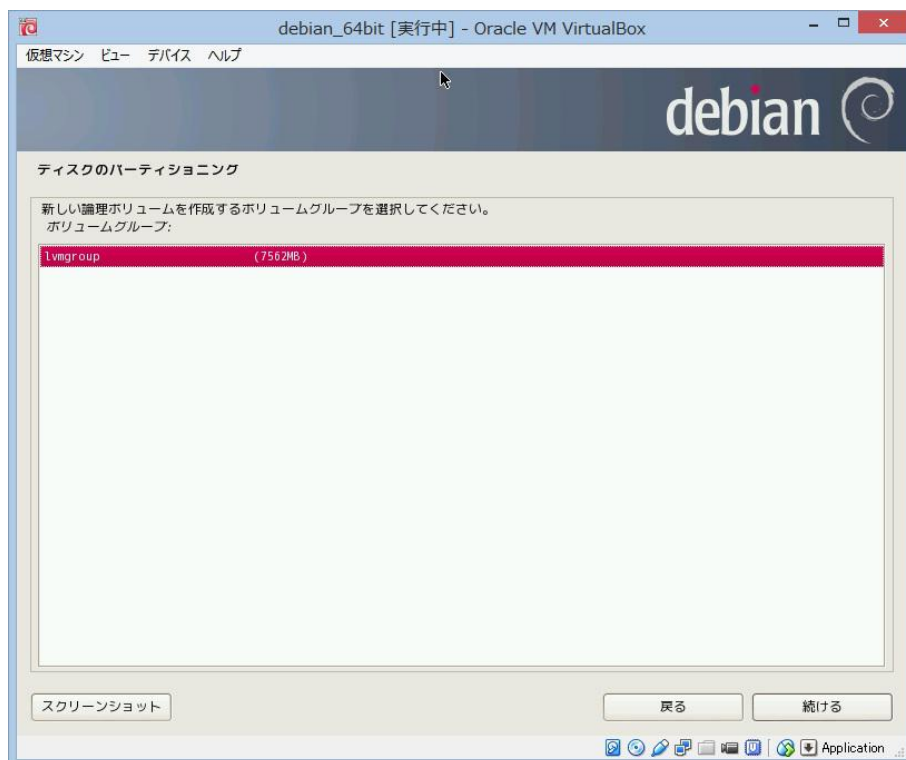
- ③④ 残りのサイズで、root配下の全ての領域を設定します。小分けにhomeとか別でパーティションを分けてもいいですが制限がかかり、となりの領域を使用する事ができなくなります。素人は、root配下全て一つの領域で設定したほうが無難です。



debianにMATEをインストールする手順

- ③⑤ ボリュームグループを選択し、「続ける」をクリックします。
イメージとしては右の図のようになります。

boot	lvm物理ボリューム
	lvm論理ボリュームグループ
swap	root

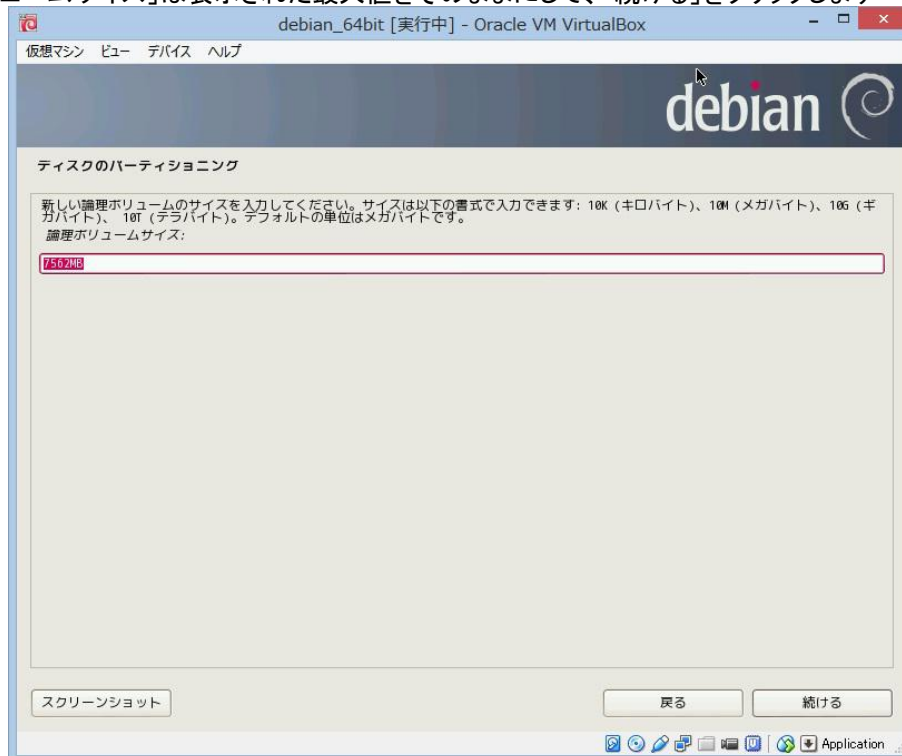


- ③⑥ 「論理ボリューム名」にroot配下全領域の名前を任意で入力し、「続ける」をクリックします



debianにMATEをインストールする手順

- ③⑦ 「論理ボリュームサイズ」は表示された最大値をそのままにして、「続ける」をクリックします

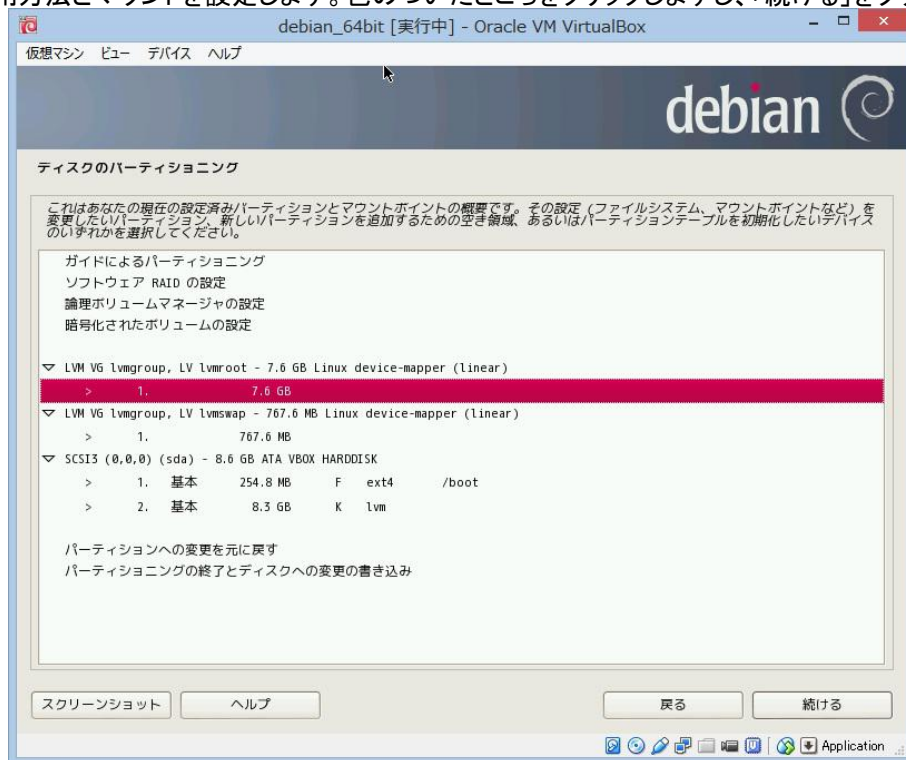


- ③⑧ 「完了」を選択し、「続ける」をクリックします



debianにMATEをインストールする手順

- ③⑨ rootの利用方法とマウントを設定します。色のついたところをクリックしますし、「続ける」をクリックします。



- ④⑩ 「利用方法」に「ext4ジャーナリングファイルシステム」を選択、
「マウントポイント」に「/」を選択し、
「パーティションのセットアップを終了」を選択し、「続ける」をクリックします

